

# 一般社団法人愛知県建設業協会

申請項目	申請部門	(該当するものに○をつけてください)
	(1) 災害復旧支援活動	(5) 建設業ふれあい活動
	(2) 防災支援活動	(6) 建設業の啓蒙・イメージアップ活動
	(3) 環境美化・保全活動	(7) その他
	(4) 社会福祉活動	
	タイトル	ラジオならびに小冊子の発行を媒体とした広報活動の実施
<p><b>(ラジオを媒体とした広報活動の実施)</b></p> <p>東日本大震災の発災時に建設業が大きな役割を果たしているにもかかわらず、報道等がされていなかったこと等を踏まえ広報活動の在り方を検討したところ、建設業が果たしている役割を市民・県民に正しく理解して頂くことを目的として、平成25年4月からラジオ放送を媒体とした広報活動を、レギュラー番組として全国で唯一愛知県建設業協会が実施している。</p> <p>中部日本放送(CBCラジオ;TBS系列局)において毎週土曜日放送中の生放送ワイド番組「広瀬 隆のラジオでいこう」のなかのコーナー(「ラヴなごコーナー」)の スポンサーとなり、毎週交替で協会の役員等が出演し、時には行政関係者、学識経験者等のゲストをお迎えして、建設関係の様々な情報を発信している。</p> <p>番組構成としては、建設に関係したクイズ形式を取り入れ、引き続き関連情報を協会等の出演者とパーソナリティー2人とトークで紹介する形式で、「暮らし支えるまちづくり」を番組のキャッチフレーズとして、「安全・安心な国土づくり」など建設業界が果たしている役割を発信し、一般市民の方々の理解を得ることに意義があり、大きなPR効果が期待できる。また、聴取者からの反響も大きく、「建設業に対するイメージが変わった」、「建設業の皆さんが頑張っていることが分かる」等々のFAXやメールが放送後に多数、寄せられ、一般の方々が建設業界への認識が変化していることに手応えを感じており、今年度も継続して放送しています。</p> <p><b>(災害に備えるため、災害必携小冊子の発行・配布)</b></p> <p>過去の災害に学び!「防災・減災」に努めるのは今でしょう!</p> <p>地域で災害の時に支えあう「共助」の担い手として、次代を担う若者を対象に、来るべき災害に備えるため、協会として伝えたいことを別添冊子にまとめました。</p> <p>この冊子の編集に際しては、災害ボランティアとして広く活動している「特定非営利活動法人レスキューストックヤード」の全面的な協力を得て作成しました。</p>		

家庭、学校、地域、での「自助」「共助」の参考として役立てていただくことを目的に、高等学校での災害授業「土のうづくり実習」や地域での防災大会、各種災害に関連する催しで、広く市民の方にお配りしています。昨年度は年間で5,000部が市民の方に購読されています。その中でも、高校での配布では、先生方や生徒の間でもわかり易いとの評判も得ています。

「備える！！」これだけは知っておきたい「いのち」の守り方PDFはこちらから  
<http://www.aikenkyo.or.jp/aiken-member/document/member-0296/index.html>